

頭取メッセージ

平素は愛知銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

我が国の経済情勢は、企業収益の改善は緩やかになったものの設備投資と個人消費がともに底堅く推移し、景気回復基調を維持しています。一方、人口減少や高齢化社会の進行等の課題への対処を迫られるなかで、地方創生への取組など、地域活性化に向けて地域金融機関が果たすべき役割への期待は一段と強まりつつあります。

こうした経営環境の中で、平成28年4月からスタートさせた「第10次中期経営計画」では、当行が10年後に目指す姿として「地元調達・地元運用に徹し、地域社会の発展とお客さまの成長に貢献する愛知のリーディングバンク」を掲げ、10年後も地元中心の経営に特化している「当行の企業像」を明確にいたしております。

中期経営計画の3年間で目指す大きな目標は3つあります。1つ目は「収益力増強のための営業体制強化」です。具体的には、「新営業体制」への移行、「本部組織のスリム化」を実施したことにより営業店人員を増強し、営業力の強化を図っています。2つ目は、「リスク・リターンバランスを踏まえた堅実経営」です。当行が長年にわたり培ってまいりました堅実経営を遵守していくなかで、リスク・リターンとのバランスを踏まえて果敢にお客さまへの融資や支援に取り組んでいます。3つ目は、「金融サービスを通じたメイン取引先の拡大」です。法人・個人ともにメイン取引先の増加を目指した活動を強化しています。地域のシェアを高め、10年後の姿に掲げる「愛知のリーディングバンク」の礎を築いていきます。

以上の3つの目標を達成するために、「経営資源の選択と集中」、「挑戦、スピードアップ」、「地域社会への貢献」の3点を戦略構築の基本方針として掲げています。

1つ目の「経営資源の選択と集中」につきましては、「ヒト」、「モノ」、「カネ」という経営資源を選択し、個別戦略に集中させています。2つ目の「挑戦、スピードアップ」につきましては、あらゆる業務において迅速な対応が可能となるように、組織の見直し、及び業務効率化などを積極的に進めています。

最後の「地域社会への貢献」につきましては、地方創生に向けた地域の成長企業支援、ソリューション営業による取引関係の強化、愛知銀行グループ全体の金融総合サービスの強化などにより、地域社会の活性化に貢献していきます。この基本方針の下で、収益力の強化、経営基盤整備のための個別施策を展開しています。

重点施策として掲げた「中小企業、特にミドルリスク先・年商の少ない零細企業向け貸

出の増強」については、第10次中期経営計画2年目（昨年度）も、目標を大きく上回る成果をあげております。最終年度を迎えた今年度も引き続き重点戦略として、前年を上回る成果に繋がるように真摯に取り組んでまいります。



取締役頭取 矢澤 勝幸

■ 経営理念

1. 堅実経営に徹します。

堅実経営に徹し、業績の発展をとおして地域社会の繁栄に寄与します。

2. 地域中心の営業に徹します。

地域社会にしっかりと根をおろし、地域のニーズに速やかにお応えし、心のふれあいをとおしてその地域に最も役に立ち、信頼される銀行に徹します。

3. リーテイルバンキングに徹します。

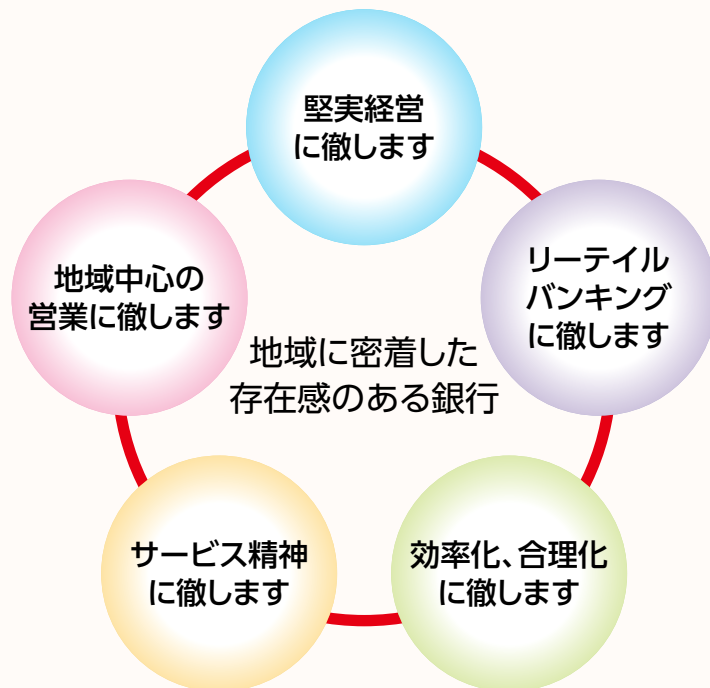
当行は個人や中小企業のみなさまに、安定した資金を供給するとともに情報の提供や各種経営相談等を行い、みなさま方の良きパートナーとして、どこよりも頼りになる銀行に徹します。

4. サービス精神に徹します。

全行員がお客さま第一の精神をもって、お客さまのニーズに積極的にお応えするため、魅力ある商品・サービスの開発、充実をはかるなど総合金融サービスの提供に徹します。

5. 効率化、合理化に徹します。

健全経営のための合理化をさらにおすすすめ、組織の活性化に努めるとともに生産性の向上をはかり、経営体質の強化に徹します。



コーポレートマーク (シンボルマーク)

マークは愛知銀行の頭文字「Ai」をデザインしています。



◎三角形

「A」であり、その赤い三角形は地域を意味します。またAの横棒は右肩のオレンジの点とともに「i」を形づくります。

◎点

三角形から飛び出たオレンジのドット(点)は、殻を打ち破って未来へ向かおうとする意志、夢を表現しています。

コーポレートメッセージ (キャッチフレーズ)

「あい、ふれあい、きずきあい」

あい

「地域への愛」、「お客さまへの愛」が愛知銀行の基本姿勢です。

ふれあい

地域コミュニケーション、お客さまとのコミュニケーション。地域に根ざした金融機関としての特色を表現しています。

きずきあい

豊かな明日に向けて、地域とお客さまと、手をたずさえ、ともに発展していこうという未来への意志を表現しています。